

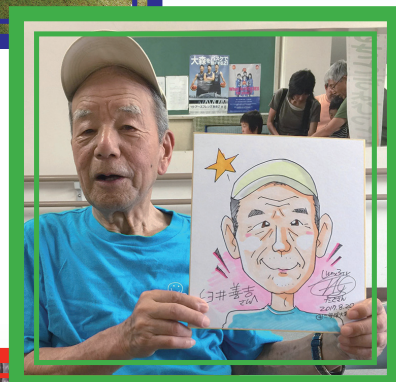
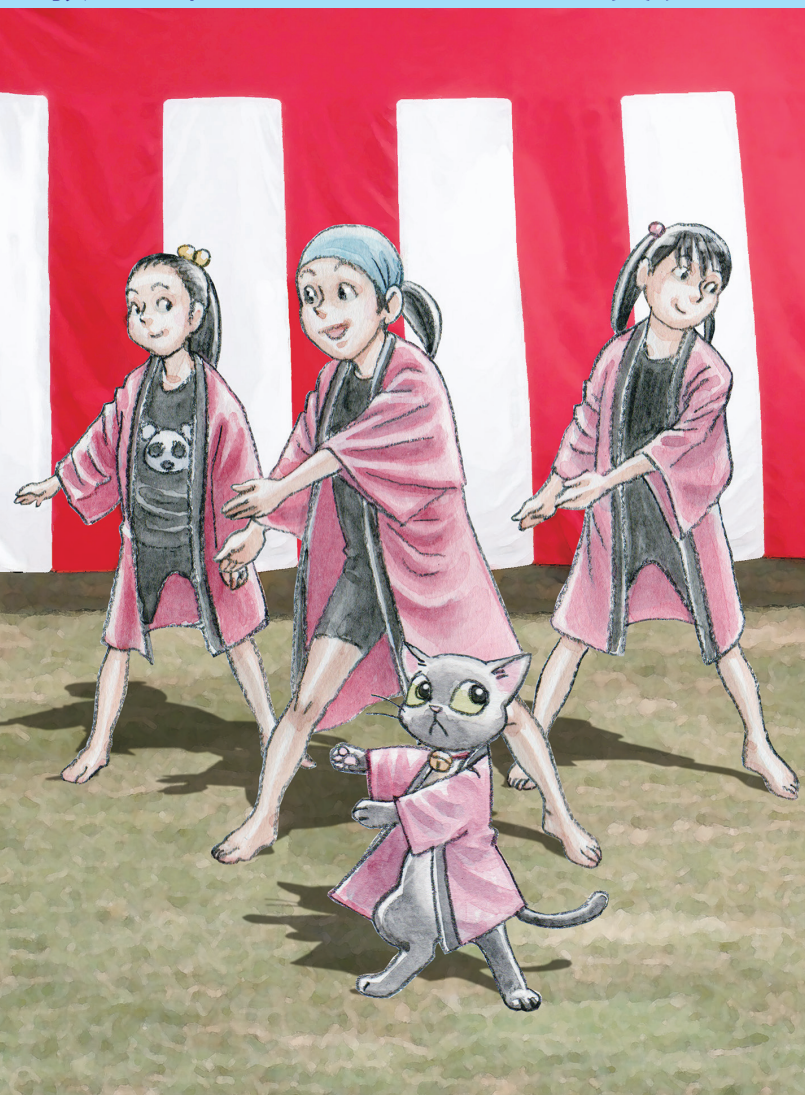
おいでよ

こらぼ

平成30年

夏

教室・講座、やりたいことを実現！



特集 大森ふるさとの浜辺公園に行こう！

2-3p

地域力ここにありー保護司のお仕事 大田区保護司会ー

4p

世代を越え、そして地域を越えてーみなまた いなか学校プロジェクトの取り組みと今後に向けてー

5p

こらぼ大森を使ってみました！

6p

こらぼ大森活動の報告ー毎週木曜日の午後はこらぼへゴー！ー

7p

こらぼ大森のイベントで案内

8p

特集

大森ふるさとの浜辺公園に行こう！

2007年の開設以来、大森ふるさとの浜辺公園は、都内初の入り江や干潟のある磯遊びや水遊びができる公園として人気を博してきました。大森近隣の方々ばかりでなく区外からも多くの方にお越しいただく人気スポットとなっています。これからの暑い季節、大森ふるさとの浜辺公園に遊びに行きませんか？



昨年には、新たにレストハウスや船着場、フットサル場が完成し、また隣接地には、公設では都内唯一となる、常設ビーチバレー場、多目的スポーツ広場を有する、大森東水辺スポーツ広場が完成しました。

船着き場

この船着場は、災害時に人や緊急物資を運ぶための水上輸送拠点として活用します。また、平常時は観光振興を目的として、水上バスやクルーズツアーなどの舟運事業等に使用できます。



ビーチバレー場

国際試合も開催できるように国際バレーボール連盟(FIVB)の規定に準じているビーチバレーコート。まぶしいほどの真っ白な砂はベトナム産で、固まりにくく熱くなりづらく、選手にも好評だそうです。メインコートだけではなく、サブコートも3面あります。昨年のオープンセレモニーでは、Vリーグ所属選手による「大森東水辺スポーツ広場オープン記念『Vマッチ・ビーチバレーボール大会inおた』」が開催されました。



写真提供：日本バレーボール協会

レストハウス

ビーチバレーボール上のすぐ隣にはドリンク・軽食を販売する売店や休憩スペースや更衣室、シャワー設備が完備したレストハウスにも売店があります。



地域力ここにあり

保護司のお仕事

「保護司… 言葉は聞きますが、何をしているのか、知りません」という方が多いでしょう。

保護司は、罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのるほか、ときには助言なども行なう民間のボランティアです。法務大臣から委嘱された無給で非常勤の国家公務員です。

また、犯罪を予防するための地域活動にも取り組んでいます。「社会を明るくする運動」は法務省の主唱で、“すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人の立ち直りについて理解を深め、犯罪や非行のない社会を築くため”の運動です。



大田区保護司会 第一分区 副分区長

野村 正樹さん

7月は「社会を明るくする運動」の強化月間です。大田区内18出張所で地区ごとに「社会を明るくする運動」地区集会が行なわれます。大森西地区でも7月16日（海の日）午後2時から大森学園高等学校イベントホールで開かれます。ぜひ多くの方に参加して頂き、「社会を明るくする運動」の理解をしてもらえれば嬉しいです。



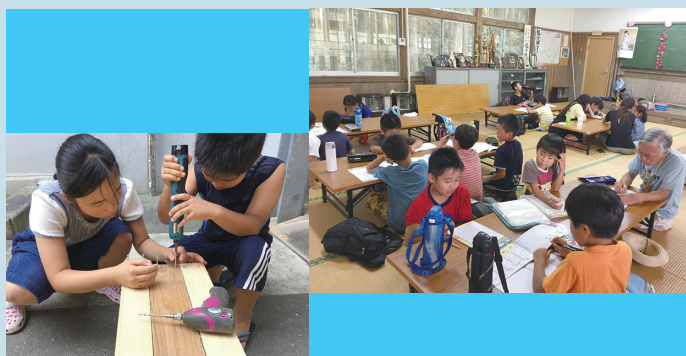
5月から6月にかけて、地元の諏訪神社と、浅間神社のお祭りが行なわれました。その期間中、青少年健全育成の一環として、大森第八中学校PTAの生活指導部とともに保護司も、祭礼夜間巡回パトロールを行ないました。保護司会は、大森西地区の小中学校に、学校担当保護司として各2名ずつ担当させ、犯罪予防活動を学校と連携しながら進めています。

犯罪や非行のない誰もが笑顔で過ごせる地域づくりが保護司の願いでもあります。

世代を越え、そして地域を越えて

みなまた いなか学校プロジェクトの取り組みと今後に向けて

熊本県水俣市・・・このまちの出身で、大田区在住の藤本さんは、2010年から「みなまた いなか学校プロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトは、水俣をふるさととする小中学生たちが夏休みに祖父母宅等へ泊まりながら、ふるさとの自然を体験したり、昔遊びなどを教わるプログラム等で構成されています。地元の有志がその道の“名人”として日替わりで子どもたちにレクチャーします。サポーターとして、国内の学生だけでなく、台湾の大学生が日本語の勉強を兼ねてお手伝いに来れます。



水俣市は、四大公害病のひとつ“水俣病”発生の地として、戦後の高度経済成長の負の象徴を背負ってきました。それは環境や人体への被害だけではなく、被害をもたらした工場との関係の濃淡により住民同士のつながりに多大な影響を及ぼしました。それらの反省から「水俣病の犠牲を無駄にしないまちづくり」が地域一体で話し合われ、水俣市は1992年には環境モデル都市づくり宣言を行いました。現在は環境モデル都市として注目を集め、とりわけ21種類のゴミの分別を行う水俣式は全国から視察も訪れるほどになりました。

一般社団法人 ハートリレープロジェクト ファウンダー 藤本 有希さん

藤本さんは言います。「水俣の海は、世間一般の人がニュースの映像からイメージするものでは、もうないんですよ。1997年の安全宣言後も水質検査を定期的に続けていたり、むしろ水質は全国でも良いほうではないでしょうか。水俣を故郷に持つ子どもたちには、今の水俣にきちんと触れて欲しいですが、それ以上に今に至るまでの回復に多大な時間と労力、お金が使われたこともわかっていて欲しいです。それを単に知識だけでなく自分事として考えてくれたら本当に嬉しいです。」



水俣の事業をモデルとした“いなか学校プロジェクト”は、今年の夏から西伊豆をはじめ他の地域でも本格的にスタートします。「ふるさとに触れ、しっかりとつながり、自分事とするような全国の活動を応援したいし、今後もさらに広がって欲しいです。」と力強くお話してくださいました。

こらぼ大森を使ってみました!

調理室編—配食団体の活動から

三色ごはん

とりひき肉を調味料（砂糖、醤油、塩、生姜）をよく混ぜ合わせ、火にかけてぼろぼろのそぼろ状にし、汁けがなくなるまでいりつけます。

子ども達が小さいころ喜んで食べた献立のひとつですが、お弁当でもいいですね。

今回は他に、肉じゃが、カニかま入りサラダ、ほうれん草のおひたしとみそ汁がつけました。（配食サービスけやき）



配食グループ「こらぼ・このはな」の活動について

代表 佐野千代さん

設立の桜の季節に由来して命名をした「このはな」は、今年で活動を開始して24年目を迎える大田区内で活動する配食グループです。主に高齢者の自宅にお弁当を届ける活動をしています。調理や配達も含めメンバーの関わりはすべてボランティアです。

こらぼ大森では、平成16年4月の開設とともに、新たなメンバー3名も加わり「こらぼ・このはな」として配食活動を展開してきました。ご縁をいただき旧小学校の給食室からのリフォームの話し合いにも加わり、立ち会いもさせていただきました。

以前、とある利用者に「胃の全摘手術をしたのにお宅の揚げ物は胸やけがしない。驚いている」と言われたことがあります。私たちの配食活動では、油も含めて原材料を厳選しています。いかに安く食べられるかも大事ですが、健康志向である美味しい食事を提供できていることに自負があります。お届けするたびにどの人も笑顔でお弁当を受け取り、心待ちにしていच्छいます。配食を通じてお年寄りに真心を届けている、そのような活動を私たちはしています。

活動団体	配食曜日	時間帯	1食	問合せ先
配食サービスけやき	月	昼	500円	03-3762-0266（城南保健生協）
こらぼ・このはな	火・金	昼	700円	090-8081-1267

こらぼ大森活動の報告

毎週木曜日の午後はこらぼへゴー!

こらぼ大森では3年前から毎月第3木曜に地域のシニア向けに健康体操を、そして2年前から「月に1度ではなくもっと」というお声から第1木曜にも体操と脳トレを実施してきました。

さらに、口コミのお蔭で参加者が増え、この4月より第2木曜に「ボッチャ」第4木曜に「筋力アップ」の新講座が始まりました。

さあ、どこに投げたらいいのでしょうか?
考えて!



「ボッチャ」は誰でも楽しめるスポーツですが、別名「地上のカーリング」とも呼ばれ、頭脳も使います。

頭と体の両方を楽しみながら鍛えられるボッチャの魅力を感じてみませんか?

講師からしっかり指導していただきます。
さあ、もうひと頑張り!



そして、「筋力アップ」は体力測定を毎回行い、スポーツジムで運動したような充実感のあるしっかり運動する講座です。各講座により申込が必要な場合がありますので、まずはお問合せください。

気軽に参加してみてくださいね。お待ちしております!

第一木曜	げんき元気セミナー
第二木曜	わくわくボッチャ
第三木曜	健康講座 (さんもく体操)
第四木曜	健康講座 (筋力アップ)

こらぼ大森 夏のイベントご案内

第15回こらぼ大森夏まつり～てをつなごう! みんなのちから!～

- 日時 8月19(日) (10時30分開会、15時閉会・予定)
 - 場所 こらぼ大森 グラウンド、体育館、校舎棟
 - 内容 模擬店、スポーツイベント、親子で楽しめる様々なワークショップ・企画、舞台など。
被災地支援の一環でゲストが、東北、熊本から来場予定です。
こらぼ大森夏まつりは、町会をはじめ地域の団体やNPO等の区民活動団体が連携・協力のもと実施する地域みんなのおまつりです。
-
- 主催 NPO法人大森コラボレーション・第15回こらぼ大森夏まつり実行委員会
 - 共催 大田区、大森西地区自治会連合会

平和祈念写真展～今、子どもたちに伝えたい平和の心～

戦前から戦後を写真と貴重な資料で振り返ります。

そして、平和な今だからこそ、「共に笑える」幸せを三遊亭ときん師匠がお届けします。

- 日時 7月28日(土) 29日(日) 10:00～16:00
- 場所 こらぼ大森
- 内容 ①展示 戦前・戦後の写真と資料を展示
②平和寄席 三遊亭ときん師匠(大森生まれ、大森育ちの落語家さんです。)
- 入場料 無料(展示・落語ともに)

～平和寄席～

7月29日(日) 13:30～14:30 (開場13:00)

- 定員: 抽選 60名様 ●会場: こらぼ大森 多目的室
 - 申込: ①お名前 ②電話番号 ③申込人数を下記へお願いします。※締切 7月18日(水)
- 電話・FAX: 03-5753-6560 Eメール: cbc10286@nifty.com

※個人情報適切に管理し、お申し込みのイベント目的以外では使用いたしません。

- 主催 大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森
- 協力 大田区立郷土博物館、大田区立開桜小学校、東京大空襲・戦災資料センター



編集部より

季刊誌「おいでよこらぼ」をご覧ください誠にありがとうございます。本誌についてご意見・ご感想を下記のFAX又はメールでお寄せください。

- ①お住いの地域〈大森等〉、②性別、③年代〈50代等〉をお書きください。

あて先: こらぼ大森情報交流室!

- ・FAX 03-5753-6560
- ・メールアドレス cbc10286@nifty.com



発行者 齋藤十四男

発行日: 2018年7月1日

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住所: 〒143-0015 大田区大森西2-16-2

電話: 03-5753-6616

URL: <http://collabo-ohmori.com/>



QRコード

MAP

